

〈第1号議案〉 2020年度事業報告

2020年度中に一般社団法人東京科学機器協会が実施した事業及びその他の活動状況について、次の通り要約して報告いたします。

事業報告

2020年4月1日から2021年3月31日まで

〔組織と人事〕

1. 会員数に関する件（会員異動）

2020年度期首	330社
当期中の加入	8社
当期中の退会	9社
2020年度期末	329社
〈当期中の加入者〉	
株)TOGA	(2020年 4月入会)
Avidity Science(株)	(2020年 7月入会)
インテグラ・バイオサイエンセズ(株)	(2020年 7月入会)
ハリオサイエンス(株)	(2020年 9月入会)
(株)東明サイエンス	(2021年 1月入会)
キャディ(株)	(2021年 1月入会)
Formlabs(株)	(2021年 1月入会)
新日本物流(株)	(2021年 3月入会)

2. 役員・相談役・顧問・参与

理事長	：	矢澤英人			
副理事長	：	長谷川壽一	入江一光		
財務理事	：	柴田眞利	下平克彦		
専務理事	：	梅垣喜通			
理事	：	増田太郎	南 明則	竹田拓人	高橋秀雄
		富山裕明	平田紀行	大川昌男	西岡光利
		西原克年	福島 亮	谷尾俊昭	野村篤史
		三田村義崇	森井俊秀		
監事	：	木村 勉	栗田宣義	高橋正行	
相談役	：	入江照四	関谷幸弘	杉山雄之介	荻田隆久
		木崎民生	佐藤紀一		

参 与 : 今村 清 雨宮重夫 野村雅久 平井夏夫
 白井義則 森川 智 江守 栄 高木康光
 徳増安則 野木賢一 志智裕之介 佐藤文俊
 青柳喜彦

3. 総務会・監事会・委員会等

当期中、活動した運営委員会・事業委員会等は次の通り。

〈 総 務 会 〉

矢澤英人 長谷川壽一 入江一光 柴田眞利
下平克彦 梅垣喜通 増田太郎 南 明則
竹田拓人

〈 監 事 会 〉

木村 勉 栗田宣義 高橋正行

〈 常設委員会 〉

(1) 展示会委員会 (19名)

委員 長 : 柴田眞利
副委員 長 : 高橋秀雄 野村篤史
委 員 : 遠藤 聡 岡部和徳 小川 光 金子大輔
 鎌田健嗣 北村英樹 小磯隆次 佐野賢二
 島田浩志 竹田 景 田口浩之 塚越猛典
 永易亜沙子 布村友子 渡辺 徹 伊藤弘一郎

(2) 総覧委員会 (10名)

委員 長 : 増田太郎
副委員 長 : 入江一光 竹田拓人 福島 亮
委 員 : 藤本浩正 杉本典史 郡 憲幸 山根高行
 佐竹 雅法 住友美貴

(3) 経済委員会 (7名)

委員 長 : 西岡光利
副委員 長 : 平田紀行 大川昌男
委 員 : 三田村義崇 土井将司 若井田健文 佐藤嘉紀

(4) 技術委員会 (8名)

委員 長 : 入江一光
副委員 長 : 下平克彦 富山裕明 平田紀行
委 員 : 三田村義崇 森井俊秀 國井康裕 杉山大介

- (5) 広報委員会 (12名)
委員長：梅垣喜通
副委員長：高橋秀雄 富山裕明 西岡光利
委員：野村篤史 外嶋友哉 若井田健文 志智亮介
夏目知佳子 鈴木裕之 筒井紫乃 國井康裕

- (6) 交流・厚生委員会 (6名)
委員長：竹田拓人
副委員長：南 明則 谷尾俊昭
委員：江守 栄 竹田 景 三城敦子

- 第73回 新春大懇親会幹事会 (6名)
代表幹事：下平克彦
副代表幹事：竹田拓人 野村篤史
幹事：矢澤 徹 夏目知佳子 若井田健文

- (7) 国際委員会 (13名)
委員長：下平克彦
副委員長：入江一光 高橋秀雄
委員：大川昌男 福島 亮 関谷幸樹 鵜殿直子
中川洋祐 川本 潔 伊東義則 奥川 博
池田裕二 王 維一 (臨時委員)

〈 特別委員会 〉

- (1) 規約・協会将来委員会 (7名)
委員長：長谷川壽一
副委員長：入江一光 西原克年
委員：下平克彦 増田太郎 高橋秀雄 富山裕明
- (2) 会員増強委員会 (4名)
委員長：南 明則
副委員長：谷尾俊昭 三田村義崇
委員：西原克年
- (3) 選挙管理委員会 (7名)
委員長：野中智臣
副委員長：井上輝彦
委員：三田村義崇 岡田康弘 山河正道 鳥居理恵
アドバイザー：本郷千恵子

[会 議]

1. 通常総会

第75回通常総会を次の通り開催した。

- ・日 時： 2020年5月28日 14:50～15:10
- ・会 場： ワイム貸会議 日本橋本町（東京都中央区日本橋本町4-15-11）ROOM B
- ・出席者： 253社（委任状・議決権行使書含む）
矢澤理事長，長谷川副理事長，柴田財務理事，入江財務理事，
増田理事，下平理事，梅垣理事，佐藤監事，谷尾監事，高橋
顧問税理士，山西行政書士，事務局（岡田，山河，森尾）

承認議案は次の通り

- 第1号議案 2019年度事業報告
- 第2号議案 2019年度収支決算報告
- 第3号議案 2020年度事業計画（案）審議
- 第4号議案 2020年度収支予算（案）審議
- 第5号議案 定款改定(案)審議
- 第6号議案 役員任期満了に伴う改選

2. 理事会

定例理事会を開催した。 6回開催
（このうち、2020年4月15日開催の定例理事会は、新型コロナウイルス
感染症拡散防止のため、みなし決議とした。）

臨時理事会を第75回通常総会当日に開催した。 1回開催

3. 監事会

2回開催

2019年度 会計監査のため監事会を開催した。

- ・日 時： 2020年4月15日
- ・会 場： （一社）東京科学機器協会 会議室

2020年度 会計監査の準備のため監事会を開催した。

- ・日 時： 2021年3月16日
- ・会 場： （一社）東京科学機器協会 会議室

〔委員会等〕

1. 総務会

協会運営に関する重要事項を検討・協議した。 11 回開催

2. 常設委員会・幹事会

- | | |
|---------------------|-------|
| (1) 展示会委員会 | 1 回開催 |
| (2) 総覧委員会 | 5 回開催 |
| (3) 経済委員会 | 3 回開催 |
| (4) 技術委員会 | 2 回開催 |
| (5) 広報委員会 | 5 回開催 |
| (6) 交流・厚生委員会 | 2 回開催 |
| (7) 国際委員会 | 2 回開催 |
| (8) 第 73 回新春大懇親会幹事会 | 1 回開催 |

3. 選挙管理委員会

役員改選に係る一連の準備手続きを行った。 1 回開催

4. 規約・協会将来委員会

理事長からの諮問に応じ、協会運営の円滑化のために、運営の課題、組織のあり方、規約の改訂、その他当会の将来展望について協議・検討を行い、また日科協と東科協の収支構造の改定を行った。 6 回開催

5. 会員増強委員会

会の組織強化に向けて、会員増強に関する対策及び募集活動を積極的に行った。 1 回開催

〔事業活動概要〕

1. 「JASIS 2020」開催に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共催した本展示会の日科協側の実務・運営を受託、開催に協力した。本展示会では感染症防止対策を施し、コロナ禍において会員企業をはじめ、出展社にマーケティングの機会を提供し日本の科学技術の発展に寄与した。

◆ 「JASIS 2020」

・会 期 : 2020 年 11 月 11 日～13 日

- ・会 場 : 幕張メッセ
- ・総出展社数 : 276 社／機関 (前回 478社／機関)
- ・総出展小間数 : 971小間 (前回 1,423社／機関)

・来場者数 :

	会期中1カウント	天気
11/11 (水)	2,494 人	晴
11/12 (木)	2,412 人	晴
11/13 (金)	2,393 人	晴
合 計	7,299 人	

2. 「JASIS 2021」の開催準備活動に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共催する本展示会の日科協側の実務・運営を受託した。出展募集に当たっては、2021年2月に開催要項を作成、広く出展募集活動を行った。このほか、機関誌、ホームページ、e-mailなどを利用して、本展の広報・PRに努めた。

◆「JASIS 2021」開催概要

- ・会 期 : 2021年11月8日(月)～10日(水)(3日間)
- ・会 場 : 幕張メッセ
- ・主 催 : (一社)日本科学機器協会／(一社)日本分析機器工業会

3. 「科学・分析機器総覧2021」印刷版・DVD版の編集・発行製作 および「WEB科学機器総覧」の運営に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共同で発行した「科学・分析機器総覧2021」印刷版・DVD版の編集・発行・製作の実務・運営を受託、掲載募集をはじめ原稿作成・校正等掲載会社との連絡や、編集作業などの活動を行ない、同総覧の編集・発行・製作に協力した。

2020年10月に「科学・分析機器総覧2021」印刷版・DVD版を発行製作(オールカラー/15,700部)、「JASIS 2020」や「光とレーザーの科学技術フェア2020」、「NANO TECH 2021」、「スマートエネルギーWeek2021」、「国際医薬品開発展2021」等展示会の会期中、来場者に配付したほか、全国の会員企業を通じて全国の主要ユーザーに配布した。

また、WEB科学機器総覧(<https://www.soran.net>)は、約3,100製品を掲載している日本最大級の科学機器ポータルサイトとして、多くのユーザーの便宜に供している。

さらに、2018年9月に科学機器・分析機器取扱会社を紹介する「英語版ウェブサイト『SORAN』」(<https://soranjapan.com>)を製作・公開し、掲載会社は無料で掲載できるサービスを始めた。毎年情報を更新し現在110社が掲載している。

4. 「科学・分析機器総覧 2022」印刷版・DVD版の編集・発行・製作準備活動に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共同で発行する「科学・分析機器総覧 2022」印刷版・DVD版の編集・発行・製作の実務・運営を受託した。

掲載募集に当たっては、2021年1月に掲載募集案内を作成、前回の掲載会社や各地区協会会員企業のほか非会員企業にも配布し、また「スマートエネルギーWeek 2021」会場で配布するなど、広く掲載募集活動を行った。

このほか、機関誌、ホームページ、e-mailなどを利用して、広報・PRに努めた。2021年10月頃に「科学・分析機器総覧 2022」印刷版を発行/DVD版を製作する予定で進めており、「JASIS 2021」をはじめ、展示会、学会付設展の会期中来場者に配付する予定のほか、全国の会員企業を通じて、全国の主要ユーザーに配布する予定。

5. 広報に係る事業

当期中、次の事業活動を行った。

(1) (一社)日本科学機器協会 機関誌「科学機器」編集・発行に協力

(一社)日本科学機器協会 機関誌「科学機器」編集発行の実務・運営を受託、毎月1,750部発行(No. 862~873)して、(一社)日本科学機器協会会員企業に配付したほか、関係機関等に寄贈するなどの活動を行ない編集発行に協力した。

(2) 「科学機器入門」(増補改訂版)を頒布

2010年3月に刊行した、冊子「科学機器入門」(増補改訂版)は、会員企業をはじめ全国各地の希望者に有償で頒布した。

なお、2023年春頃を目標に「科学機器入門 NO.3」を発刊する予定。

(3) IT活用

協会ホームページで会員企業全社の紹介をはじめ、協会の事業内容・組織図、「JASIS」「WEB 科学機器総覧」のPR、技術情報、各種研究開発助成金制度や関連法規に関する情報及び関係官庁からの告示を転載するなど、会員企業にとって必要な最新情報を掲載した。また、(一社)日本科学機器協会ははじめ、関連機関とのリンクや内外からのアクセスに対し、e-mailによる回答や各種情報の受信・発信を行った。(URL: <https://www.sia-tokyo.gr.jp>)

(4) 協会パンフレット(SIA TOKYO)の製作・配付

2020年11月に製作した本会パンフレットを、会員企業や関連機関等に広く配布した。

(5) その他、会員企業に対する各種情報の提供

当期中に、関係省庁・関係学会・関連団体等から入手した各種情報の内、必要な事項について機関誌「科学機器」に掲載したほか、主にe-mailによる各種情報の発信を行った。また、国内外からのアクセスに対しては、電話をはじめe-mail、

FAX, 郵便等による回答を行った。

6. 経済活動に係る事業

当期中, 次の事業活動を行った。

(1) 「実勢景況調査」実施に協力

(一社)日本科学機器協会が毎年実施する実勢景況調査に協力し, 当業界の景気動向調査を行い, その集計結果を機関誌「科学機器」に掲載し, 会員企業へ情報提供を行った。なお, 2019年よりWEBサイトからの回答方法式に変更した。

(2) 「会員実態調査」実施に協力

(一社)日本科学機器協会が3~4年毎に実施する会員実態調査に協力し, 当業界の全般的な調査を行い, 結果をまとめた会員実態調査報告書を発刊し, 全国の会員企業に送付した。また, 結果報告のダイジェスト版を機関誌「科学機器」に掲載した。

(3) 「管理者マネジメント強化研修 (リモート)」を開催

- ・日 時 : 2021年2月1日, 3日, 15日, 17日 各日10:00~11:30
- ・講 師 : 牛道 茂 氏 (有エファ 認定コンサルタント)
- ・受講料 : 全コース受講の場合10,000円 1コース受講の場合 3,000円
- ・受講者 : 11社/22名

(4) 「オンライン 新人受け入れ研修」を開催

- ・日 時 : 2021年3月10日 10:00~16:00
- ・講 師 : 菊地 理恵 氏 (有エファ 代表取締役)
小林三曜子 氏 (有エファ認定トレーナー・秘書検定審査員)
- ・受講対象 : 2020年度新入社員研修申込者 (同研修は中止)
- ・受講料 : 5,000円
- ・受講者 : 7社/14名

(5) 「生産性向上特別措置法」および「中小企業経営強化法」に係る税制措置に必要な証明書発行手続き (日科協に協力)

(一社)日本科学機器協会が, 「生産性向上特別措置法」, 「中小企業経営強化法」に係る税制措置に必要な「試験又は測定機器」と「測定工具及び検査工具 (工具)」の証明書発行団体となっており, 同会に協力して証明書発行業務を行い, 本年度内に155件 (うち新規13社)に証明書を発行した。

7. 技術振興に係る事業

当期中, 次の事業活動を行った。

(1) 「科学機器学習教室」(WEBセミナー)を開催

- ・「バイオ研究支援市場と理化学機器ビジネスの全貌を探る」
-理化学ビジネスマンが知っておきたいCOVID-19とは-

- ・日 時 : 2020年12月2日 16:00~18:00
- ・講 師 : 岩瀬 壽 氏 (バイオディスカバリー(株) 代表取締役)
- ・会 費 : 無料
- ・参加者数 : 44社/70名

(2) (一社)日本科学機器協会が関わった IEC (国際電気標準会議) の技術関連業務に協力した。

8. 国際活動に係る事業

当期中、次の活動を行った。

(1) 「WEB 説明会 技術流出防止管理説明会」を開催

- ・日 時 : 2020年10月14日 14:00~16:00
- ・講 師 : 安全保障貿易管理 自主管理促進アドバイザー 濱 宏 氏
経済産業省 安全保障貿易管理課 技術・認証係長 大木 章弘 氏
独立行政法人 日本貿易振興機構 イノベーション・知的財産部
知的財産課 弁理士 渡辺 浩司 氏
- ・会 費 : 無料
- ・受講者 : 31社/62名

(2) 「WEB 説明会 安全保障貿易管理説明会」を開催

- ・日 時 : 2021年2月3日 14:00~16:00
- ・講 師 : 安全保障貿易管理 自主管理促進アドバイザー 濱 宏 氏
- ・会 費 : 無料
- ・受講者 : 49社/121名
- ・終了後「個別相談会」を実施した (1社)。

(3) 「PITTCON 2021 (ピッツバーク カンファレンス)」へバーチャル出展し、「JASIS」や英語版科学・分析機器取扱会社サイト「SORAN」<https://soranjapan.com/> の PR を行った ((一社) 日本分析機器工業会に協力)

【PITTCON2020 バーチャルイベント】

- ・会期 : 2020年3月8日~12日

(4) 「英語版 科学・分析機器取扱会社サイト『SORAN』」の運営に協力
総覧委員会に協力して、「英語版科学・分析機器取扱会社サイト『SORAN』」
<https://soranjapan.com> の運営や PR 活動を行った。

(5) “JETRO 貿易実務オンライン講座” に (一社) 日本科学機器協会と共に協力
(一社) 日本科学機器協会が、日本貿易振興機構 (JETRO) と団体契約を結び、
2020年度の6期において、JETRO 貿易実務オンライン講座に協力した。

9. 会員交流および厚生に係る事業

当期中、次の事業活動を行った。

(1) 英会話講座を開催

初級ビジネス英会話講座（WEB と併用／全 20 回）

- ・期 間 : 2020 年 8 月 18 日～2021 年 3 月 23 日までの毎週火曜日
18:30～20:00
- ・講 師 : Tomomi Yokomoto 氏
- ・会 費 : 30,000 円（全 20 回分）
- ・受講者数 : 7 社／10 名

(2) 第 1 回オンラインイベントを開催

「日本酒オンライン教室」

- ・日 時 : 2021 年 3 月 19 日 18:30～20:00
- ・講 師 : 福本 芳鷹 氏（新政酒造株）
- ・テ ー マ : 日本酒の味わいと成分
- ・会 費 : 無料
- ・参加人数 : 11 社／22 名

10. 団体 PL 保険制度への参加

会員企業の経済的リスク軽減を図る主旨で、東京海上日動火災保険会社と提携して、(一社)日本科学機器協会団体 PL 保険（製造物賠償責任保険）制度に、当期中も本会会員企業が加入して、同制度の継続に協力した。

11. グループ保険制度への参加

会員企業の福利厚生の充実を図ることを目的とし、生命保険会社の協力を得て、1997 年 2 月 1 日付で設立された(一社)日本科学機器協会グループ保険制度に当期中も本会会員企業が加入して、同制度の継続に協力した。

12. 団体長期障害所得補償保険（GLTD）への参加協力

会員企業の福利厚生制度の充実を目的に、生命保険会社の協力を得て、(一社)日本科学機器協会団体長期障害所得補償保険（GLTD）制度に、当期中も本会会員企業が加入して、同制度の継続に協力した。

1 3. 会員満足度・要望事項調査アンケートを実施

アフターコロナに備え、会員企業の皆様により満足いただけるよう、開催事業の評価・見直しを検討するためのアンケートを実施した。(規約・協会将来委員会)

1 4. 官公庁・学会・団体等との協調および協力

当期中、官公庁、関係学会・関係団体と協調および協力を行った。

- (1) WEB版 都民計量のひろば2020(くらしと計量)の実行委員会として参加。
・WEB版公開期間:2020年11月1日~11月30日

1 5. 部会等の活動に対する支援

当期中、次の部会等の活動を支援した。

- (1) S. J. C. (サイエンス・ジュニアーズ・クラブ)では、勉強会(WEB開催)を行うなど年間を通じて業界の後継者としての素養の研鑽に励み、本会はこれを支援した。
- (2) サイエンス部会では、例会の開催を今期は見送りとし、代替として、オンラインミーティングを行い、本会はこれを支援した。

1 6. 対外機関への支援・協力

当期中、関係学会・友好団体等の活動に対して協賛又は協力した。